

インドに続け！ブラジル大統領選挙で経済好転？

2014年も残すところ5ヵ月足らずとなりました。今年1月の読得では「2014年注目のイベント！」と題して各成長国の主要イベントをご紹介しました。

5月のインド総選挙では、ナレンドラ・モディ氏率いる最大野党のインド人民党 (BJP) が圧勝し、10年ぶりの政権交代となりました。新政権への期待から株価は上昇したほか、政権が安定したことで、経済改革も断行できるとして消費者心理が好転。6月の国内自動車販売台数は前年同月比で約7%増と19ヵ月ぶりに前年実績を上回りました。このほかにもハイテク関連や医療分野などへの外資導入、保険分野における外資の出資上限の引き上げなど改革への期待も高まっています。

一方ブラジルでも10月に大統領選挙が行われ、現職のルセフ大統領を含む複数の候補者で争われる予定です。ルセフ大統領は経済の成長鈍化に加え、公共サービスや交通インフラの整備に対する国民の不満から、支持率が低下しています。対する他の候補者は、構造改革による経済へのテコ入れを訴え、国民からの支持を集めつつあります。例えば、最有力対抗馬のネブス氏は、インフラ事業を民間に開放することで、インフラ整備を促進させ、国民に人気の高い社会福祉プログラムを犠牲にすることなく、歳出を抑制していく政策を掲げています。また、候補者の一人が不慮の事故に遭ったことで、共闘している元環境相のシルバ氏が立候補するとの見方もあり、波乱含みの形相となっています。

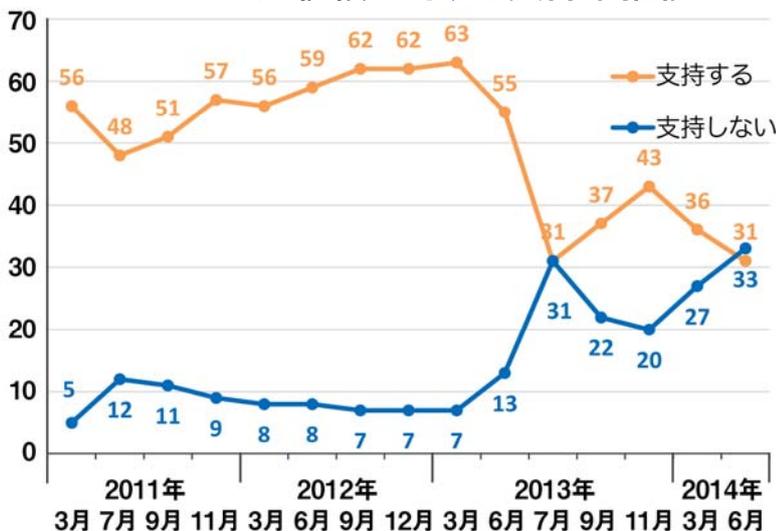
仮に政権交代が実現すれば、インドのように投資家からの期待が高まるかも知れません。

インドの主要株価指数推移



(出所) S&P BSE SENSEX

(単位: %) ルセフ大統領に対する支持率推移



(出所) CNI-IBOPEのレポートに基づきGSAM作成

本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合もあります。個別企業あるいは個別銘柄についての言及は、あくまで例示をもって理解を深めていただくためのものであり、当該個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等を推奨あるいは勧誘するものではありません。本資料の一部または全部を、弊社の書面による事前承諾なく(Ⅰ)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、あるいは(Ⅱ)再配布することを禁じます。

<審査番号: 118415.OTHER.MED.OTU> © 2014 Goldman Sachs. All rights reserved.